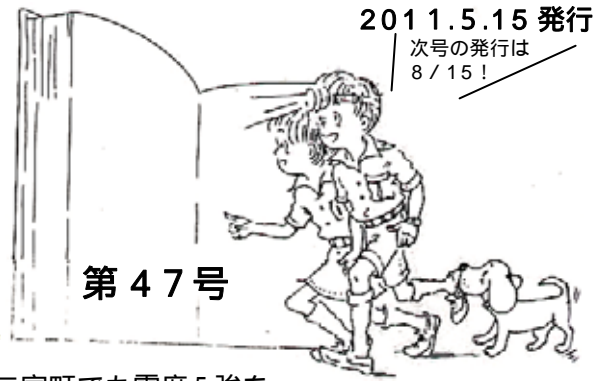


にのみやまちとしょかん 図書館だより

2011.5.15 発行

次号の発行は
8/15!

第47号



未曾有の震災から2ヶ月が経過しました。3月11日の地震では二宮町でも震度5強を記録し、図書館でも書架から本が落下する被害がありました。地震直後は安全確認及び書架復旧のため臨時休館とし、翌週からは節電のため平日の開館時間を短縮しました(4/26から通常開館)。図書館では引き続き節電のため館内の照明を一部消灯しています。利用者の方のご理解・ご協力をお願いいたします。

図書館来館中に地震が発生した際は、すぐに書架から離れてください。慌てて建物の外へ出ると危険ですので、揺れがおさまるまでは図書館の外へ出ないでください。

地震直後の一般書架
高い書架の上段を中心に
約3700冊の本が落下し
ましたが、幸い怪我人等
はありませんでした。



特集 ブックスタート

二宮町では、昨年(2010年度)からブックスタートを開始しました。ブックスタートとは1992年に英国で始まった、赤ちゃんに絵本を手渡す運動です。その目的は、絵本を「読む」ことではなく、絵本で赤ちゃんとお母さんが心ふれあう「きっかけ」をつくること。日本では2000年「子ども読書年」を機に紹介され、取り組みが広がっています。

ブックスタートでは、健診などを利用して地域に生まれた全ての赤ちゃんに絵本を配ります。ただ配るだけでなく、読み聞かせの場を持ち、「赤ちゃんとお絵本をひらく」体験も一緒にプレゼント。「赤ちゃんすくすく育てね」「地域で子育てを応援していますよ」というメッセージもこの活動にこめられています。

二宮町のブックスタートは、4か月児健康診査時に行なっています。おすすめの3冊の絵本の中から気に入ったものを1冊選んでいただき、図書館が作成した赤ちゃん絵本リストとともに、バッグに入れて手渡ししています。選んだ絵本は、待ち時間を利用して、ブックスタート・ボランティア(にのみやおはなし会)の皆さんが赤ちゃんひとりひとりに楽しく読み聞かせてくれます。



二宮町ブックスタートバッグ
絵本は3冊の中から1冊選んでいただけます。
「あかちゃんをはじめてであう本」(図書館作成のブックリスト)とブックスタートのロゴが入ったバッグに入れてお渡します。

ブックスタートの様子(2011年2月)
赤ちゃんをひざの上に乗せ、お母さんも一緒に絵本を楽しんでもらいます。
赤ちゃんの笑顔にお母さんも笑顔。「読んでいるこちらこそ幸せな気分になります」とボランティアさんも笑顔。



絵本の読み聞かせを受けたお母さんからは「4か月でこんなに反応するんですね!」「家に帰って読んであげたい」という声が聞かれます。赤ちゃんは生後3~4か月くらいで物をじっと見るようになります。目の前で絵本を開くと、その鮮やかな色やページをめくる動きに反応していることがわかります。

「ブックスタートでお渡しした絵本を家庭でも楽しんでいただき、お母さんにもお父さんにも赤ちゃんとお絵本をひらくひとときを持っていただけたら.....」というボランティアさんの言葉は、ブックスタートに関わる全てのスタッフの願いでもあります。

二宮町図書館には、0歳から楽しめる「赤ちゃん絵本」のコーナーがあります。ぜひご利用ください。

2月～4月の新着本 & CD

2011年2月～2011年4月新着分より
(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)



『あたらしい社員の教科書』

(柴田英寿/中経出版 / '10.12 / 159.4 ヶ)

厳しい社会状況のなかで、社会に貢献でき、自分にとって満足のいく仕事とは何か。またそれを実現するためのノウハウを学べる「あたらしい社員」になるための教科書。

画像
なし

『おやすみ動物園』

- 眠る前に見たい動物たちの寝顔 - 』

(たちばなれんじ/河出書房新社/'10.12 / 480 ヶ)

10ヶ所の動物園で撮影したトラ、カバなど39種類の動物達の寝顔の写真を集めた本。みんな気持良さそうに、幸せそうに寝ています。無防備な寝顔に見ているこちらにも眠くなります。

画像
なし

『定食と文学』

(今村二/本の雑誌社/'10.11 / 596.0 ヶ)

林芙美子の肉豆腐、獅子文六の煮魚…。文学作品や映画に描かれた定食および定食的メニューを作品とともに紹介。定食評論家の著者が、実際にその定食屋を食べ歩いた「定食文学」ガイド。

画像
なし

『すべての生命にであえてよかった』

(桃井和馬/日本キリスト教団出版局/'10.10/748 ヶ)

「紛争」や「地球環境」をテーマに世界140カ国余りで取材し、地球や生命の尊さを伝え続ける写真家桃井和馬さんの写真集。特にパタゴニアの耐える木の写真は遅く生きる勇気をもたらす。

画像
なし

『県庁おもてなし課』

(有川浩/角川書店/'11.3 / 71)

高知県庁に実在する「おもてなし課」を題材にした「観光小説」。前半はジリジリ(イライラ?) 中盤わくわく、最後まで読んだら高知に行きたくなる!かも。

画像
なし

『太陽おばば』

(雀野日名子/双葉社/'11.2/双)

ひとり暮らしを始めたフリーライターのおばは、向かいのアパートに住むパワフルなおばさんと知り合う。不思議な力を持つおばさんと接していくうちに、ライターとして書かなければいけない大切なことを見つけていく。

画像
なし

録音 CD (演奏者 / 収録時間 / 請求記号)

『ありがとうのうた』

(井上陽水奥田民生[ほか]/66分/290 ヶ)

ありがとうの気持ちが込められた歌の数々。小田和正やGLAYをはじめ、14組のアーティストによるコンピレーションCDです。心からのありがとうは笑顔を作る魔法の言葉です。

画像
なし

児童書

『ナノってなんなの?』(ハリー・クロトー/富山房

インターナショナル/'10.12 / 79 E 加)

10億分の1の大きさ、想像できる? 大人にもおすすめしたい、「ナノ」の世界がわかる絵本。作者ハリー(ハロルド)・クロトーはノーベル化学賞を受賞したイギリス人化学者です。

画像
なし

展示テーブルから

5月の展示テーマ



画像
なし

紹介本

『本のお茶』

- カフェスタイル・岡倉天心『茶の本』 - 』
(岡倉天心/角川書店/'07.10 / 791 ヶ)

5月2日の八十八夜をすぎ、新茶のおいしい季節です。今月のテーマは「お茶にしよう」。お茶や喫茶文化にまつわる本を集めました。

今回紹介する『本のお茶』は、岡倉天心(明治時代の美術評論家、思想家)著の『茶の本』の内容を抜粋して意識したビジュアルブックです。『茶の本』は『The book of tea』として1906年にニューヨークで発行された名著で、日本人が大切にしてきたお茶を通しての美しい生き方を説いています。そのエッセンスを『本のお茶』では現代風にアレンジを加えて、きれいな写真と短い文章でまとめています。3.11以降はりつめた状態の神経を、一服のお茶で癒してみたいかがでしよう。

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊



画像
なし

『まじめなフレッドおじさん』

ティム・イーガン
ソニー・マガジンス
'05.9
E 14'

フレッドさんはまじめな農場主。まじめすぎて冗談も言わなければ笑いもしない。農場の動物たちは耐えかねて家出します。フレッドさんは動物たちを探しに出かけ、一緒に帰ろうと誘います。フレッドさんの冗談には笑えないけれど、心がほんのり温かくなります。

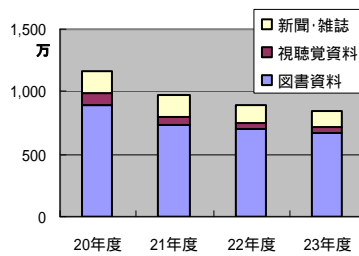
平成23年度 主な図書館事業

平成23年度の図書館の主な事業は以下のとおりです。今年度も町の情報・文化の発信地として、町民の皆様のお役に立てる図書館運営を目指します。

平成23年度資料購入費

図書（年鑑・白書等を含む）・・・約670万円
 視聴覚資料（CD・DVDなど）・・・約43万円
 新聞・雑誌・・・約133万円

<資料購入費推移>



県内図書館との連携

県内ネットワークシステム（相互貸借）によりリクエスト資料を借りて提供
 東海大学附属図書館との相互利用

学校との連携

団体貸出、総合学習支援（随時）
 学校図書館連絡会議（年2回）

利用促進・広報事業（情報発信）

資料紹介（子育て情報コーナーほか）
 図書館だより発行（年4回）
 図書館ホームページの充実

イベント

図書館講座（11月・2月予定）
 図書館リサイクル市（5月21、22日開催）
 にんぎょうげき大会（年1回）

子ども読書推進事業

小中学生にすすみたい本展示・リスト配布
 各対象向けおはなし会（毎月開催）
 わらべうたであそぼう！（毎月開催）
 「あかちゃんをはじめてであう絵本」冊子配布（随時）
 ブックスタート事業（保険予防課との共催）

地域資料の充実

二宮ゆかりの人物調査
 地域資料展示（2階地域資料コーナー）

視覚障害者へのサービス

図書館だよりテープ版の無料送付

その他

団体巡回貸出サービス（年4回・4ヶ所）
 町内団体貸出（随時）
 図書館協議会（年2回）
 修理ボランティアの受入

ベストオーダー 2011年2月~2011年4月

この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 謎解きはディナーのあとで / 東川篤哉
- 2 麒麟の翼 / 東野圭吾
- 3 花の鎖 / 湊かなえ
- 4 ばんば憑き / 宮部みゆき
- 5 県庁おもてなし課 / 有川浩
- 6 八日目の蝉 / 角田光代
- 7 放課後はミステリーとともに / 東川篤哉
- 8 きことわ / 朝吹真理子
- 9 KAGEROU / 斎藤智裕
- 10 あの頃の誰か / 東野圭吾

ふう〜ん

くす玉の由来

くす玉(薬玉)とは、もともとは薬効のある香料を玉にして綿の袋に入れ五色の糸をたらししたもの。端午の節句に邪気払いや長寿を願って飾られた。



二宮ゆかりの人物

つちや ぶんめい 土屋 文明 (歌人・国文学者)

奥村温室訪ひし日は遠し二の宮駅谷深く今日入り来りたり
 これは、1964(昭和39)年「短歌」1月号に掲載された土屋文明の「相州土屋と云ふ所」(『続青南集』)と題する一連十二首の冒頭の一首です。

土屋文明(1890~1990)は、群馬県に生まれ100才で天寿を全うするまで歌を詠み続けた近代日本の代表的歌人です。宮中歌会始召人にもなり、優れた万葉学者としても知られています。18才の頃から、短歌雑誌「アララギ」の前身である「アカネ」や「ホトギス」に投稿し、19才で伊藤左千夫を頼って上京。短歌の指導を受け、極貧の東京帝国大学在学中に同学年となった芥川龍之介、久米正雄、菊池寛らと第三次「新思潮」に戯曲や小説を発表することで文明の短歌生涯の礎を築きました。28才で結婚して6年余は長野県内で教育に携わり、作歌、「アララギ」の選歌、歌会、万葉の講義と力を注ぎつつ女子教育の改革に務めました。転任を機に教職を辞し再び上京します。1925(大正14)年35才で歌集「ふゆくさ」が歌壇で絶賛されると、その後斎藤茂吉から「アララギ」の編集発行人を引き継ぎ、戦後も「アララギ」の復興など精力的に活動しました。代表作には『往還集』『山谷集』『青南集』『万葉集私注』などがあり、『土屋文明全歌集』(石川書房1993刊)には12,345首所収されています。

冒頭の句は、1963(昭和38)年に文明が平塚市土屋を訪ねた際、歌会のために二宮山西の奥村温室を訪れた27年前のことを思い詠んだ歌です。1936(昭和11)年「アララギ」

6月号には「相州二宮奥村温室」(『六月風』)と題した一連九首があります。**桑畑こえ高き温室みえをれど君が温室はその手前にあり**

1936年当時、二宮には温暖な気候を利用した温室が数軒あり、メロンやカーネーションなどが盛んに作られていました。奥村温室は4棟あり、信州出身のアララギ同人奥村政治郎の長男が経営していました。政治郎は「信濃人物誌」に名前が載る教育者で文明に師事していました。晩年、病のため山西で療養しており、歩行が困難なこともあり、政治郎のもとに文明自ら出向いたと思われます。歌会の日には加藤陶陵(大磯在住の画家、アララギ同人)とともに訪れた文明のために、戦前で材料のない中当時山西の薬屋の東側にあった菓子屋に小麦粉を持ち込み、もてなしのための茶菓を用意したそうです。政治郎は1944(昭和19)年68才で亡くなりましたが、その15年後には『奥村政治郎歌集』が出版されました。序文は文明によるもので、政治郎との短歌を介した思い出や二宮で散策をともししたことなどが書かれています。また、奥村家には文明の自筆の書も保存されています。



文明自筆の書 (奥村家所蔵)

あまのつばきにはあまのつばき
 散れぬはくらの花をながめし文明

今回の記事を掲載するにあたり、奥村政治郎の孫にあたる奥村清氏に大変貴重なお話を伺いました。ご協力ありがとうございました。

参考資料 『歌人土屋文明 - ひとすじの道 - 』(土屋文明記念文学館編/埴書房/1996/NY ㍿) 『土屋文明の跡を巡る』(横山季由/短歌新聞社/2004/NY ㍿) 『土屋文明紀行』(村松和夫/六法出版社/1988) 『土屋文明全歌集』(土屋文明/石川書房/1993) 『奥村政治郎歌集』(奥村政治郎/信濃教育出版社/1964) 『信濃人物誌』(信濃教育出版社/1962)

お知らせ・お願い

雑誌の休刊と受入中止のお知らせ

休刊 「消費者」(2011年4月号までで休刊)

受入中止(2011年3月受入分まで)

- 一般 「家の光」「オレンジページ」「COOL TRANS」「文藝」
- 児童 「おひさま」「おりがみ」

4月よりAV資料の所蔵リストが更新されました

開館当初から2011年3月31日までに受入をした資料のリストです。形態別、ジャンル別に載っています。新着リストとあわせてご利用ください。

託児サービスの保険料の変更について

2011年4月より1回200円から100円に変更になりました。お気軽にご利用ください。

図書館講座

「布絵本を作って楽しむ」を終えて

2月16日、23日に、小さなお子さん向けの布絵本を作成する講座を開催しました。

「久しぶりに針を持ち楽しかった」「子どもと完成した布絵本を楽しみたい」と大変好評でした。

完成した布絵本



行事

くわしくはお問い合わせください。

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

休館日

図書館リサイクル市(21日・22日)

- ちいちゃいおはなし会 第2水曜日(5月は第3水曜日)
- おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび 第3土曜日
- わらべうたであそぼう! 第3金曜日
- 図書館託児サービス 第3水曜日(7月は第2水曜日)



第7回 図書館リサイクル市 開催のお知らせ

日時 5月21日(土)・22日(日)
10時~16時(なくなり次第終了)
場所 ラディアン展示ギャラリー
内容 本(単行本・文庫・雑誌・児童書等)

1人10冊までお持ち帰りできます。
5月21日は混雑が予想されるため、9時30分から会場(展示ギャラリー)前で整理券を配布します。1人1枚です。
持ち帰り用の袋などは、各自ご持参ください。
どなたでもご入場できます。お気軽にお越しください。

会場内に二宮町図書館基金のための募金箱を設置します。皆様のご協力をお願いします。

展示テーマ

3月

- 一般 / 『Gift~ありがとうの気持ちをこめて~』
- 児童 / 『はる』
- AV / 『グラミー賞』

児童特設(3月~4月)

- 『熊田千佳慕 生誕100年』
- 『岸田衿子さんをしのんで』

4月

- 一般 / 『図書館で何する?』
- 児童 / 『はる』
- (ミニ展示: 絵も楽しみたい自然科学の本)

地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

- 4~6月 『園田孝吉』
- 7~9月 『語られた二宮の戦争』

5月

- 一般 / 『お茶にしよう』
- 児童 / 『初夏』
- AV / 『ふるさと』

書庫の本紹介コーナー

- 4~6月 『時代小説~男性作家編~』
- 7~9月 『東北出身の作家の中から』

協力ありがとうございます

図書館基金

4月末までの累計
3,286,823 円



《月別合計》

2月の金額 **2,753 円**
3月の金額 **7,081 円**
4月の金額 **4,021 円**

ひとつだけ ~編集後記にかえて

計画停電の開始当初「(二宮町の)停電はいつ?」と何度も尋ねられた。図書館を頼っていただき嬉しくもあり、もどかしくもあり.....。「詳しくはWEBで」じゃあ、インターネットにアクセスできない人はどうしたらいい? 「情報格差」についても考えさせられた。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物ガイドブック』好評発売中!

